

## 「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	3Rの推進		
施策	①廃棄物減量化・再利用・リサイクルの推進			
主な取組	建設リサイクル資材認定制度(ゆいくる)活用事業	実施計画 記載頁	26	
対応する 主な課題	本県の世界に誇る自然環境を保全することに加え、本県は狭隘な地理的条件にあることから、廃棄物の減量化など環境負担を軽減する循環型社会を構築する必要があり、県内で発生した廃棄物の有効活用が求められている。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	産業廃棄物のより一層の循環的利用の取組を目的としている。「リサイクル資材評価委員会」を開催し、ゆいくる材の認定を行う。技術管理課HP等で認定資材の状況を公開し、関係者を対象とした研修会やパネル展示等で同制度の普及を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	384資材 ゆいくる材 認定資材数			→	400資材 以上(累計)	→	県
	ゆいくる材の利用促進						
担当部課	土木建築部技術管理課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
リサイクル資材評価認定システム運営事業	11,133	11,133	「リサイクル資材評価委員会」を開催し、建設リサイクル資材の認定を行った。また、行政関係者を対象とした研修会を開催し、一般県民へはパネル展示等の周知活動を行うなど、同制度の普及を図った。【県単等】	再掲 3-(6)-イ 215頁 3-(8)-ウ 257頁
活動指標名			計画値	実績値
ゆいくる材認定資材数			384資材	493資材
-			-	-
推進状況	取組の効果			
■順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	関係者には「ゆいくる」という名前でリサイクル資材が周知されてきており、公共事業等で利用されていることから、認定資材も平成28年度目標「400資材以上」に対して、平成24年度末の資材数は「493資材」と目標を達成している。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考
リサイクル資材評価認定システム運営事業	10,400	今年度も新規の資材認定申請があれば「リサイクル資材評価委員会」を開催する予定。関係者への研修会を開催し、一般県民へはパネル展示などで同制度の普及活動を行う。【県単等】	-

## 様式1(主な取組)

### (3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。

### (4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
産業廃棄物の再生利用率	48.7% (22年度)	48.7% (22年度)	50%	0%	40.5% (21年度)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
沖縄県リサイクル資材(ゆいくる)評価 認定業者数	81業者 (22年度)	82業者 (23年度)	86業者 (24年度)	↗	—
状況説明	前年に比べやや増加しているが、認定業者のさらなる増加のためには、資材の利用促進や本制度の周知活動が必要である。				

## 3 取組の検証(Check)

### (1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・価格が高いなどの理由で種類によっては利用率が低く、認定を廃止する資材もある。

### (2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・安定的に需要を確保するためには、公共事業での利用率の向上及び民間工事での利用が必要である。

## 4 取組の改善案(Action)

・県、市町村関係者へ利用促進の説明会等を行う他、国へも利用促進の協力依頼を引き続き行う。  
・様々な説明会等を活用して行政職員、工事受注業者の意識向上を図る。  
・技術管理課のホームページやパンフレットの充実、パネル展示等で一般県民へも広く情報提供を行い、公共工事だけでなく、民間工事でも「ゆいくる材」を積極的に利用してもらえよう周知を図る。